

国語科学習指導案

河内長野市立千代田小学校

指導者 ○○ ○○

○○ ○○

○○ ○○

1. 日時 令和8年2月10日(火)5時間目(13:55~14:40)

2. 場所 河内長野市立千代田小学校 3年各教室

3. 学年・組 第3学年1組(34名) 2組(34名) 3組(33名)

4. 単元名 読んで考えたことをつたえ合おう

5. 教材名 『ありの行列』(光村図書)

6. 単元の目標

◎指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。

【知識及び技能(知(1)力)】

◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

【思考力、判断力、表現力等(思C(1)力)】

◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。 【思考力、判断力、表現力等(思C(1)力)】

◎進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

7. 指導にあたって

(1)児童について

3年生になってから、説明文「文様／こまを楽しむ」「すがたをかえる大豆」の教材を通して、「初め」「中」「終わり」の構成について繰り返し学習してきた。また、文章の構成を捉えるために欠かせない、中心となる言葉や文に着目することも繰り返し学習してきた。しかし、子どもたちの様子を見てみると、中心となる言葉や文が捉えられていないために、問題で問われていることや授業中の教師の発問を理解できていない場面が多い状況にある。そのため、理解した内容から考えたり思ったりした内容を文章に表現することに苦手意識をもつ子どもも多い。まずは、言葉や文章にたくさんふれて慣れることを大事にするために、物語文や説明文の学習では全文通読を大事にし、詩の暗唱なども取り入れるようにしてきた。それでも、何度も学習を繰り返さないとスムーズな音読をすることができなかつたり、言葉を素早く捉えて音読することが難しかったりする子どももいる。読み取った内容をもとに文章を書く学習で

は、教師の例文を示したり、メモを書かせる場面を取ったりして、書きたい内容が明らかになるようにしている。また、下書きでは、段落ごとに教師によるチェックを入れるようにしている。こういった指導がなければ、間違っ了解釈のまま下書きを書ききってしまう子どもがいるからである。一方、手立てを理解して、自分の力で必要な情報の入った読みやすい文章を書くことのできる子どもが出てきている。

本単元でも、文章の構成を捉え、それぞれの段落で伝えられている内容を理解し、思ったことや考えたことを伝え合うことができるように、中心となる言葉や文を拾い上げる活動を大事にしたい。

また、2学期の説明文教材「すがたを変える大豆」からの発展教材である「食べ物のひみつを教えます」では、学習した説明文の工夫を生かして、自分で調べた内容を文章に表現した。その際、調べ学習のためにおこなった並行読書では、自分の興味をもった食べ物についてだけではなく、他の食べ物についても熱心に調べる姿が見られた。興味をもった内容について積極的に関わる姿が、本教材でも見られるよう、ありを見つめ続けたウイルソンの熱心さや知りたい気持ちの強さ、また、ありの生態の面白さや不思議さを、授業の中で大切に取り上げて共有したい。

(2) 教材について

本校の研究主題である『主体的、協働的な学びの中で、自分の考えを表現できる子どもの育成』～国語科の説明文において、読み取る力・書く力を高める指導の工夫～を旨とし、この一年間、読み取った内容をマッピングで広げたり、メモに整理したりする活動を重ねてきた。また、さまざまな教科において、自分の気づきや考えを小グループで伝え合う活動も意識的に取り入れてきた。

本教材は、子どもたちにとって身近な生き物である「あり」について書かれた説明文である。子どもたちは春や夏に道端や運動場で活発に活動する、この小さな生き物の様子を見たことがあるはずである。それだけに、この説明文の中で話題にのぼるありの行列を、イメージしやすいことだろう。けれど、このよく見る生き物について、そこまで深く考え見たことがないだろうし、知らないことが多いだろうと予想される。それだけに、ありの生態について子どもたちが知る中で、感動をもって読み深める時間を大事にしたい。また、ありの行列に疑問をもって実験や観察を続け、研究をして解明したウイルソンに対して、子どもたちは尊敬の気持ちをもつことだろう。説明文の中のどの部分から、そんな気持ちをもったのかを明らかにしながら、自分の感じたことを伝えさせたい。

文章構成としては、「初め」「中」「終わり」を考えると、接続詞や指示語を手立てとして考えることができる。「中」の部分は、3年生になって学習してきた事例列挙型説明文とは違い、ありの行列のできる理由を「実験・観察①→実験・観察②→仮説→研究」という流れで書かれている。時系列でわかったことを述べる形で、子どもたちが一緒になって理解を深めていく楽しさがある説明文なので、文章を読む楽しみを共有することもできると考える。

4年生になった時に、要点をまとめ、要約する活動につながるよう、本教材において大事な言葉や重要な文を選ぶ力を身につけさせたい。説明文の「中」の部分を読むときに、大事な言葉や重要な文を選びながら、自分たちの興味をもったことや不思議に思ったことを表現する時間を重ねる。その活動で出てきた考えや思いを、説明文の構成図に書き加えて、単元の最後におこなう「読んで考えたことを伝え合う」活動の手立てとする。取り出した内容を示して考えや思いを書くときに、主語と述語が合わなかったり、文末表現が一致しなかったりする子どもがいることも予想される。似た間違いの多い文を例文として提示し、どのように手直しするとよりよい文になるのかを考える時間をもち、正しい文章を書くために大事にすることを意識させたい。

8. 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| ○指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ | ①「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。C(1)オ ②「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。C(1)カ | ○言葉がもつよさに気付くとともに、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。 |

9. 指導と評価の計画（7時間）

| | 時間 | ねらい・学習活動 | 評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価 |
|----|-------------------|--|--|
| 一次 | 1 | ・学習の見通しを持つ。 ・教師の範読を聞く。 ・初発の感想を書き、交流する。 | ◎思・判・表① 【ノート】 ◎知・技【発言】 ◎主体【発言】 |
| | 2 | ・全文通読をする。 ・文章を「初め」「中」「終わり」に分け、文章の組み立てを確かめる。 ・「問い」と「答え」について確認する。 | ○知・技【発言】 |
| | 3 | ・全文通読をする。 ・ウイルソンがした実験①の部分に線を引く。 ・観察の中のありの行動を確認する。 ・不思議に思ったこと、すごいと思ったことを振り返りに書く。 | ◎思・判・表①② 【発言・ノート】 |
| | 4 【本時①】 3-2 | ・全文通読をする。 ・ウイルソンがした実験②の部分に線を引く。 ・観察の中のありの行動を確認する。 ・不思議に思ったこと、すごいと思ったことを振り返りに書く。 | ◎思・判・表① 【発言・ノート】 |
| | 5 【本時②】 3-1 | ・全文通読をする。 ・ウイルソンがした研究の部分に線を引く。 ・研究結果で分かったありの生態を確認する。 ・不思議に思ったこと、すごいと思ったことを振り返りに書き、交流する。 | ◎思・判・表② 【発言・ノート】 |

| | | | |
|----|-------------------|---|--|
| 二次 | 6 【本時③】 3-3 | <ul style="list-style-type: none"> ・全文通読をする。 ・ありの行列を読み、「興味をもったこと」について文章にまとめる。 ・自分の文をチェックして直す。 | <p>○思・判・表① 【ノート】</p> |
| | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・間違った例文を元に、自分の文章を読み、必要があれば直す。 ・書いた文章を交流する。 ・自分と友達の文章を比べ、同じところや違うところを見つけ、振り返る。 | <p>○思・判・表② 【ノート】</p> <p>○主体 【ノート・発言】</p> |

10. 本時の展開 (3年2組 4/7時間目)

(1) 本時の目標

・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ

(2) 本時の評価規準

・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。

【思考力・判断力・表現力等】C(1)オ

(3) 本時の判断基準

| 十分満足できる状況(A) | 概ね満足できる状況(B) | 努力を要する子どもへの支援(C) |
|--|-------------------------------------|------------------------|
| 本時で学習したことをもとに、すごいと思ったことだけでなく、疑問に思ったことなど、自身の興味が膨らんだことを書くことができている。 | 本時で学習したことをもとに、すごいと思ったことを書くことができている。 | 他の児童の考えを聞くことのできる時間をとる。 |

(4) 本時の学習過程

| 時 | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価 |
|----|--|---|--|
| 5 | 1. 前時までの学習を振り返る。 | ・「問い」と「答え」の内容について確認する。 ・3段落のウイルソンがした実験や、観察の中でのありの行動について確認する。 | |
| 2 | 2. 本時の学習課題を確認する。 ◎じっけん、かんさつ②の内ようをまとめよう。 | | |
| 8 | 3. 全文通読をする。 | | |
| 3 | 4. ウイルソンがしたことに線を引く。 | ・4段落も3段落と同様にウイルソンが実験と観察をしていることを確認する。 | |
| 12 | 5. 実験、観察の中でのありの行動とそれに対するウイルソン | ・「すると」、「ようやく」などの接続詞に注目し、ウイルソンが長 | |

| | | | |
|----|---|--|------------------|
| 5 | ンの考察をノートに書く。 6. 実験、観察②の内容を短くノ ートに書く。 | い間、粘り強くありのことを観 察している様子を押さえる。 ・短くまとめた内容を構成図に 書き足す。 | |
| 10 | 7. 本時の学習の中で、不思議 に思ったことやすごいと思っ たことを振り返りに書き、交 流する。 | | ◎思・判・表① (ノート) |

11. 板書計画

① 地面に何か道しるべになるものをつけておいた？

② 帰る時の道すじはわかりません。

③ 道の続きを見つける

④ 大きな石をおいてありの行く手をさえ
ぎってみました。

⑤ 道のすじに

⑥ 道のすじは

⑦ 道のすじは

⑧ 道のすじは

⑨ 道のすじは

⑩ 道のすじは

⑪ 道のすじは

⑫ 道のすじは

⑬ 道のすじは

⑭ 道のすじは

⑮ 道のすじは

⑯ 道のすじは

⑰ 道のすじは

⑱ 道のすじは

⑲ 道のすじは

⑳ 道のすじは

㉑ 道のすじは

㉒ 道のすじは

㉓ 道のすじは

㉔ 道のすじは

㉕ 道のすじは

㉖ 道のすじは

㉗ 道のすじは

㉘ 道のすじは

㉙ 道のすじは

㉚ 道のすじは

㉛ 道のすじは

㉜ 道のすじは

㉝ 道のすじは

㉞ 道のすじは

㉟ 道のすじは

㊱ 道のすじは

㊲ 道のすじは

㊳ 道のすじは

㊴ 道のすじは

㊵ 道のすじは

㊶ 道のすじは

㊷ 道のすじは

㊸ 道のすじは

㊹ 道のすじは

㊺ 道のすじは

㊻ 道のすじは

㊼ 道のすじは

㊽ 道のすじは

㊾ 道のすじは

㊿ 道のすじは

① 読んで考えたことを伝え合おう。

② ありの行列

③ 大まきてつや

④ 道のすじは

⑤ 道のすじは

⑥ 道のすじは

⑦ 道のすじは

⑧ 道のすじは

⑨ 道のすじは

⑩ 道のすじは

⑪ 道のすじは

⑫ 道のすじは

⑬ 道のすじは

⑭ 道のすじは

⑮ 道のすじは

⑯ 道のすじは

⑰ 道のすじは

⑱ 道のすじは

⑲ 道のすじは

⑳ 道のすじは

㉑ 道のすじは

㉒ 道のすじは

㉓ 道のすじは

㉔ 道のすじは

㉕ 道のすじは

㉖ 道のすじは

㉗ 道のすじは

㉘ 道のすじは

㉙ 道のすじは

㉚ 道のすじは

㉛ 道のすじは

㉜ 道のすじは

㉝ 道のすじは

㉞ 道のすじは

㉟ 道のすじは

㊱ 道のすじは

㊲ 道のすじは

㊳ 道のすじは

㊴ 道のすじは

㊵ 道のすじは

㊶ 道のすじは

㊷ 道のすじは

㊸ 道のすじは

㊹ 道のすじは

㊺ 道のすじは

㊻ 道のすじは

㊼ 道のすじは

㊽ 道のすじは

㊾ 道のすじは

㊿ 道のすじは

ずとウイelsonは
見ている。

10. 本時の展開（3年1組 5／7時間目）

(1) 本時の目標

- ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。【思考力、判断力、表現力等】C(1)カ

(2) 本時の評価規準

- ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。【思考力、判断力、表現力等】C(1)カ

(3) 本時の判断基準

| 概ね満足できる状況(A) | 概ね満足できる状況(B) | 努力を要する子どもへの支援(C) |
|---|---|------------------------------------|
| 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることやそのことの良さに気づくことができている。 | 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができている。 | 感じたことや考えたことを書くことができるように、ヒントカードを渡す。 |

(4) 本時の学習過程

| 時 | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価 |
|---|---|---|--|
| 3 | 1.前時までの学習を振り返る。 ・説明文の言葉 ・「実験①・実験②の確認」 | ・構成図を用い「問い」と「答え」の関係を確認する。 ・「これらのかんさつ」の示す言葉のつながりを意識させる。 | |
| 1 | 2.本時の学習内容を確認する | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ◎ウイルソンがした研究について考え、感想や考えを伝え合おう。 </div> | | | |
| 5 | 3.全文通読をする。 | ・ウイルソンがどんな研究をしたか意識して読ませる。 | |
| 3 | 4.ウイルソンがしたことに線を引く。 | ・3段落と4段落で線を引かせたことを想起させる。 | |
| 4 | 5.ウイルソンは「道しるべ」をどんな道しるべだと予想したか考える。 | ・ありはものがよく見えないことを例に出して、道しるべは見えるものでは意味がないことを | |

10. 本時の展開(3年3組 6/7時間目)

(1) 本時の目標

・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ

(2) 本時の評価規準

・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを書いている。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ

(3) 本時の判断基準

| 十分満足できる状況(A) | 概ね満足できる状況(B) | 努力を要する子どもへの支援(C) |
|---|--------------------------------|--|
| 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを理由を明らかにして書いている。 | 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを書いている。 | ・教師のメモと例文を示し完成をイメージさせる。 ・前時までの学習内容が分かる構成図を掲示する。 |

(4) 本時の学習過程

| 時 | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価 |
|----|--|--|--|
| 3 | 1. 前時までの学習を振り返る。 | ・構成図をもとに、前時までに学習してきた内容を確認させる。 | |
| | 2. 本時の学習課題を確認する。 | | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ◎ きょうみをもったことを中心に、考えたことを文章に書いてつたえよう。 </div> | | |
| 8 | 3. 全文通読をする。 | ・自分が興味をもった部分を意識しながら音読させる。 | |
| 6 | 4. 自分が興味をもった内容を中心に、紹介したい内容をメモに整理する。 | ・教師の興味をもった内容を中心に、どういった内容をメモに書くかを示す。(2学期の説明文教材『すがたをかえる大豆』) ・困っている子には、「あり」「ウイルソン」のどちらに興味をもったか選択させる。 | ○思・判・表① 【ノート】 |
| 23 | 5. メモをもとに、文章を書く。 | ・メモをもとにどのように書いたか、教師の例文を示す。 | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 5 | 6. チェックシートで、自分の文章を確認する。 7. 次時の学習内容を確認する。 | ・声に出して読ませて、自分の文章の間違いに気づかせる。 ・友だちの文章を読み、交流することを伝える。 | |
|---|---|---|--|

11. 板書計画

| | | | | |
|-------|-------|---|------------|----------------------|
| 教師の例文 | 教師のメモ | ◎きょうみをもったことを中心に、考えたことを文章に書いてつたえよう。 ①興味をもったこと ②考えたことや思ったこと ③読み手に対する呼びかけ | 『ありの行列』構成図 | ありの行列 大たき てつや |
|-------|-------|---|------------|----------------------|